



桶川東中だより

☆★令和3年度★★☆

桶川東中学校通信 No.5 発行：9月1日（水）

厳しい状況下にも自身の成長を目指して

校長 矢澤 等

約40日間の夏季休業日が終わり、第2学期がスタートしました。昨年度は、6月までの臨時休業の影響で、例年の半分の日数でしたので、元に戻った形となりました。しかし、新型コロナウイルス感染症はデルタ株へ置き換わり、感染拡大が一層進みました。お盆期間を中心とした学校閉庁日の頃は、台風の影響で気候が不安定となり、西日本では甚大な自然災害が起きました。これまでの夏季休業明けには、生徒同士がいわゆる「夏休みの思い出」を語り合う場面が見られましたが、今年は明るい話題は少なかったかもしれません。

2学期の始業式では、そんな中でも生徒たちに前を向いてもらいたいと思い、1年延期して行われた「東京2020オリンピック」の話題に触れました。オリンピック・パラリンピックの実施に当たっては、様々な議論がありましたが、アスリートたちが人生をかけて競技する姿に心を動かされた人は、やはり多かったのではないのでしょうか。インタビューのコメントで、ほとんどの選手が、異口同音に大会の運営に向けて尽力されたスタッフや関係者への感謝の気持ちが述べられていたことに感心させられました。これは、海外の選手たちも例外ではありませんでした。

メダル獲得や上位入賞など、結果を残せた選手の言葉には、当然、説得力があり、私たちにとって大いに参考になるものが多かったと思います。しかし、残念ながら思うような結果が残せなかった選手のコメントにも、我々の人生の教訓となるような重みのある言葉があったように感じます。厳しい状況下にも、自身を成長させ大会に臨んだアスリートに、心から敬意を表します。

桶川市の広報誌8月号で紹介されていましたが、8月24日（火）に開幕した「東京2020パラリンピック」に、本校卒業生の古屋杏樹さんが、陸上女子1,500m日本代表として出場されます。桶川市教育委員会からポスターもいただきました。先輩方の活躍は学校の誇りであり、生徒の大きな励みにもなります。9月3日（金）に出場されるそうですので、ぜひ頑張ってくださいと思います。コロナ禍においても、生徒たちには、少しでも明るい話題を見つけ、自分自身を伸ばすきっかけにしてくれることを期待しています。



8・9月の生活目標

- ・二学期の目標を立て、それに向かって努力する。
- ・基本的な生活習慣を大切にする。

重点目標

- ・時間を守る。
- ・気持ちのよいあいさつをする。